

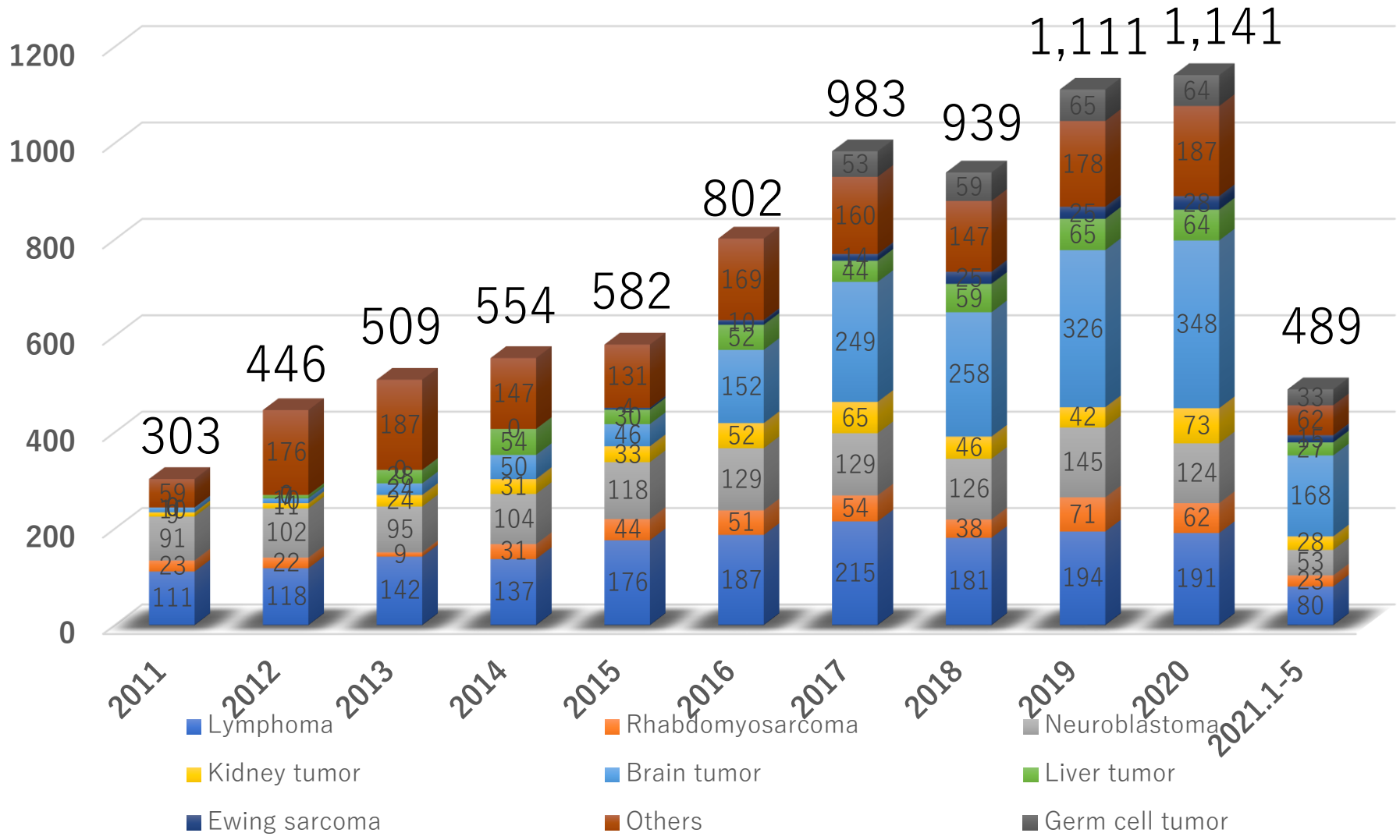
# 中央機関からの報告 病理診断支援

2021.6.22

国立成育医療研究センター病理診断部

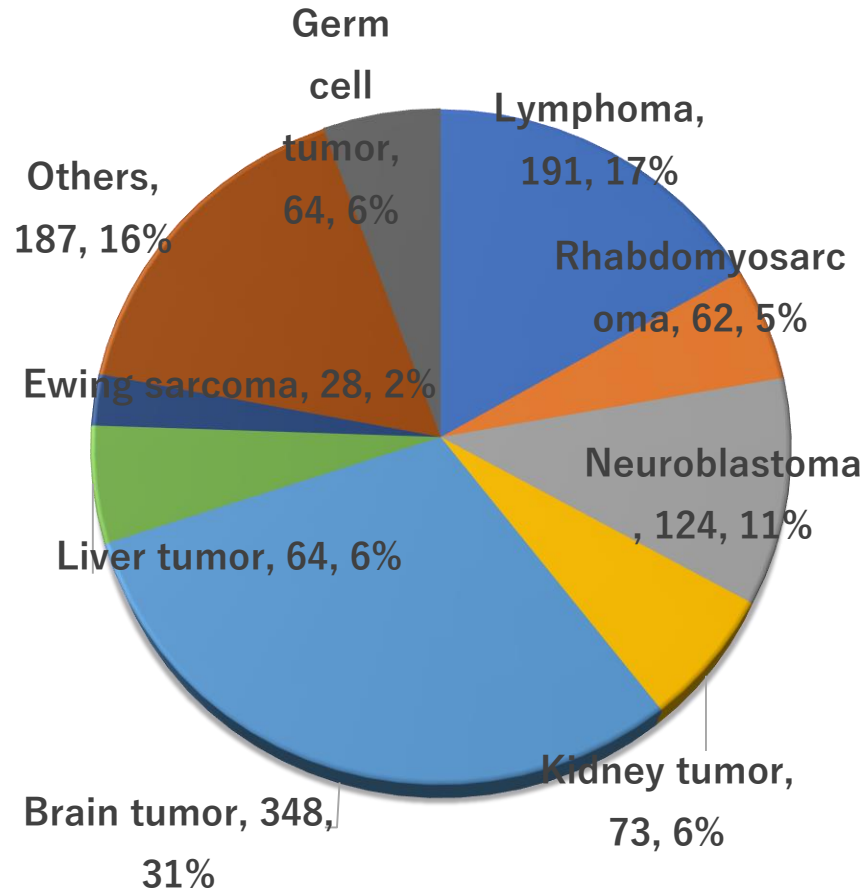
義岡 孝子

# 中央病理診断症例数の推移

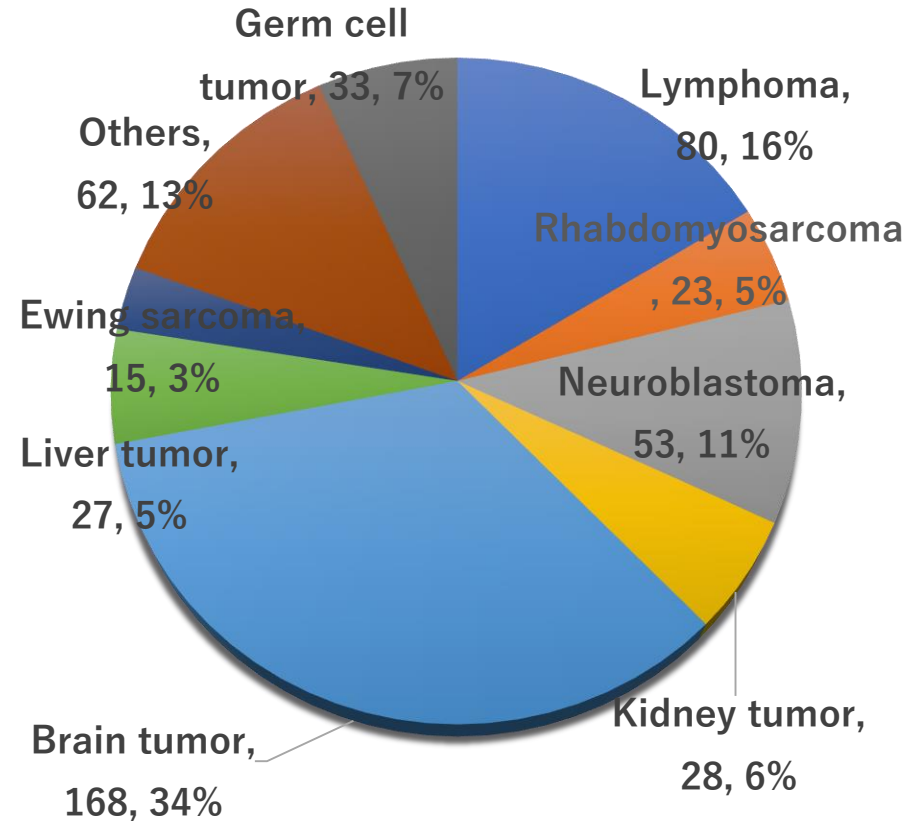


# 腫瘍グループ別 中央病理診断症例数

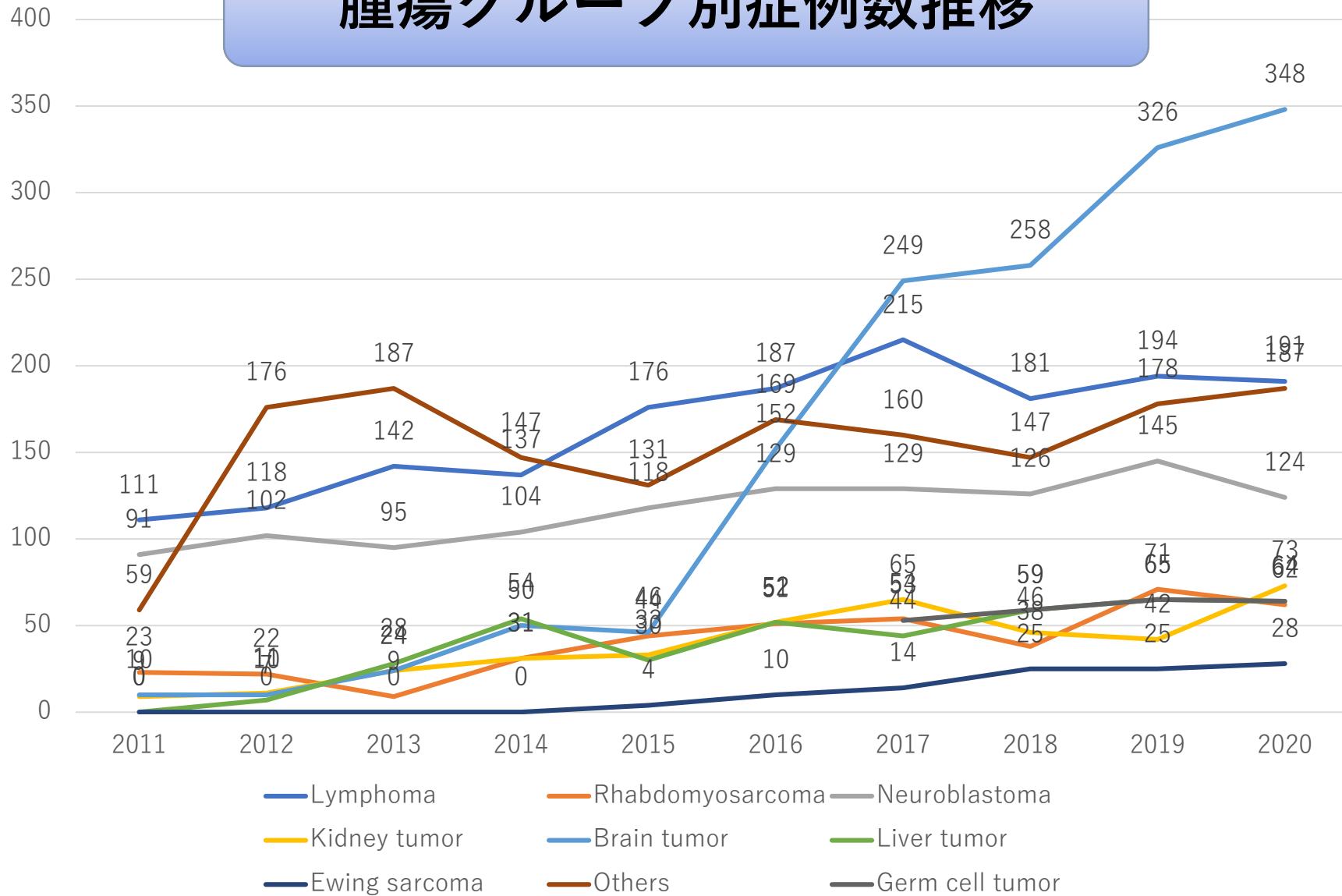
1,141 cases, 2020



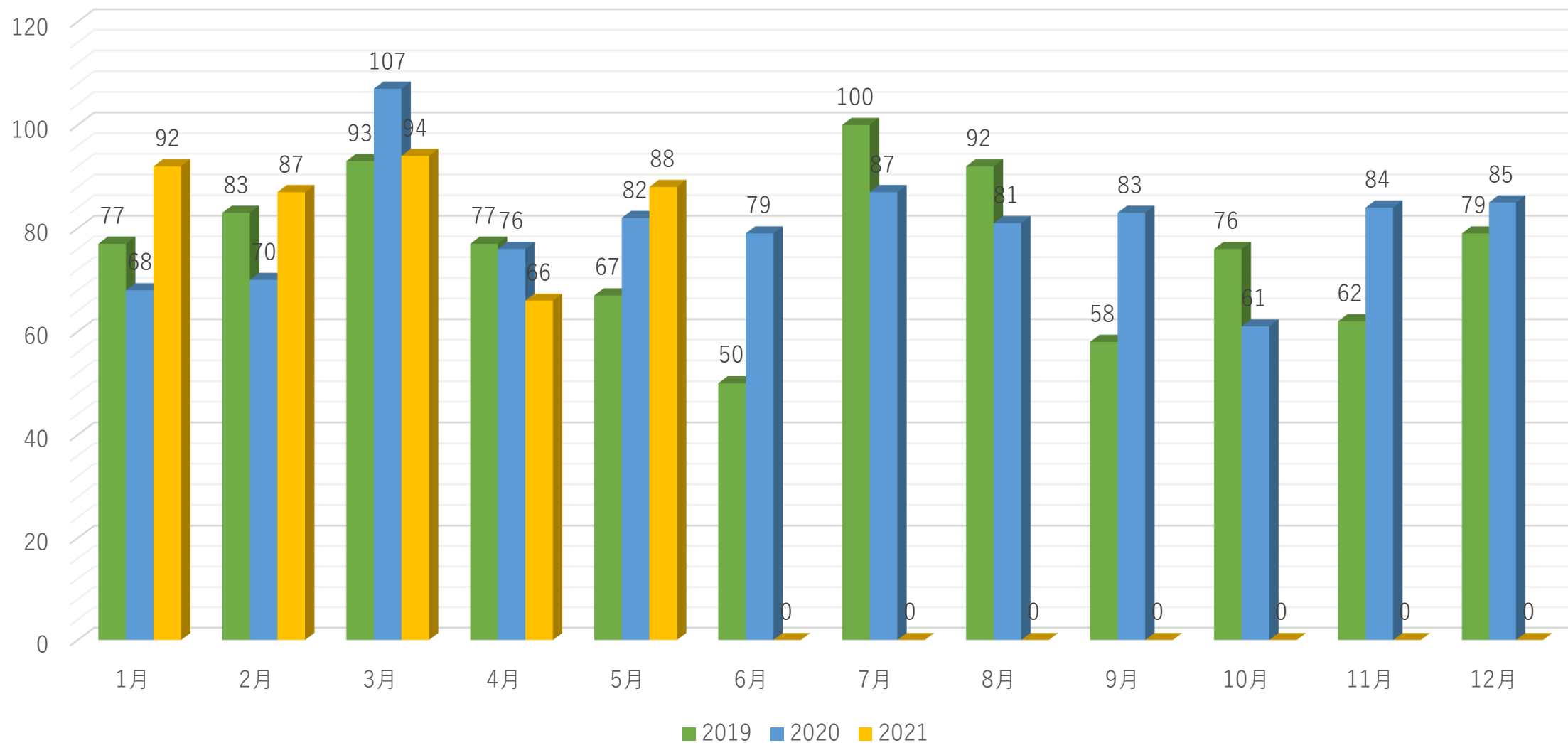
489 cases, 2020.1-5



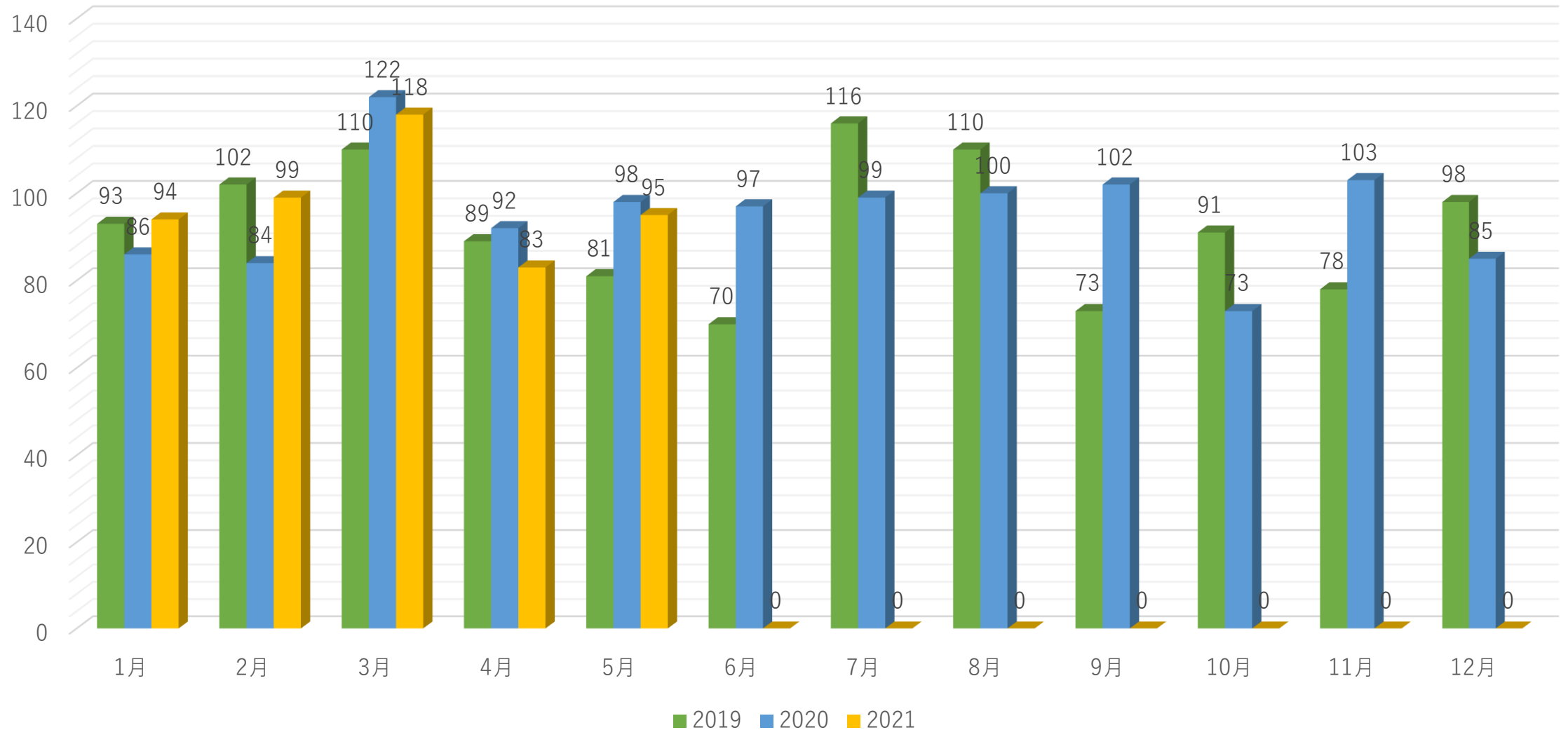
# 腫瘍グループ別症例数推移



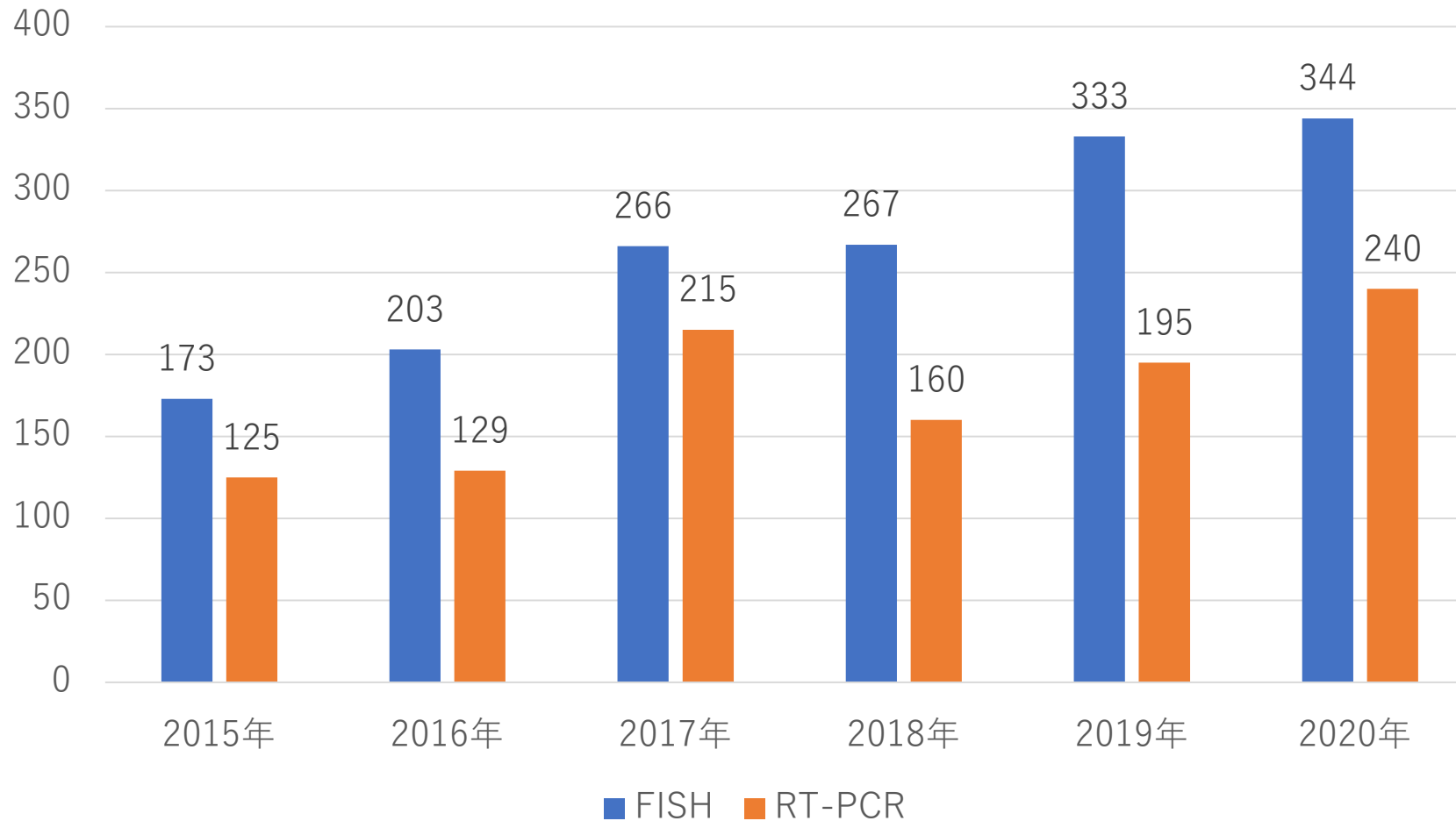
# 月別中央病理診断受付数：固形腫瘍



# 中央病理診断受付数：固形腫瘍+JPLSG(リンパ腫)



# 遺伝子解析件数 (FISH, RT-PCR)



# まとめ

- 中央病理診断は、2020年は1,141件、2021年5月末までで489件を受領した。
- 腫瘍種別では、脳腫瘍とEwing sarcomaが増加傾向にある。
- 月別では、年度末の3月と7-8月に受付数が多かった。
- 今回の病理診断部会は7月中に別途開催することとしたため、次回の協議会で内容を報告する。